



**JPN Class**

Online school - 日本語で学ぼう

# 国語の学習

## 小学校

## 六年生

## 十二月 第①週



# 学習を始める前に

## ①必ず用意してください

### ・ノート

(学習しやすいように、漢字のノートと国語のノートを分けるなど工夫をすること。)

### ・筆記用具 (赤ペンも用意すること。)

## ②注意

・大事だと思うところはノートに書いてください。

・このビデオで使っているスライドを印刷したい人は、最後の**お知らせ**を見てください。

・「ビデオを止めてください。」と言われたら、ビデオを止めて、先生の指示に従ってください。



・必要があるときは、ビデオを止めたり、もう一度ビデオを見たりするなど、それぞれ工夫をください。

## 先週の宿題から

次回の授業までにやる勉強です。

### 1. 漢字

新しい漢字を学習しましょう。

### 2. 音読

「平和のとりでを築く」を読みましょう。

### 3. 覚えておきたい言葉

国語・算数・理科・社会、それぞれ覚えておきたい言葉の復習をしましょう。

覚えておきたい言葉の意味を知り、言葉を覚えることができましたか？

# 漢字テスト

読み方をノートに書きましょう。

地層

改革

天皇

皇后

陛下

憲法

政党

内閣

法律

経済



漢字テスト

読み方をノートに書きましょう。

答え合わせをしましょう。

地層

ちそう

改革

かいかく

天皇

てんのう

皇后

こうごう

陛下

へいか

憲法

けんぽう

政党

せいとう

内閣

ないかく

法律

ほうりつ

経済

けいざい

## 漢字テスト

漢字をノートに書きましょう。

ちそう

かいかく

てんのう

こうごう

いにか

けんぽう

せいとう

ないかく

ほうりつ

けいせい



漢字テスト

漢字をノートに書きましょう。

答え合わせをしましょう。

ちそう

地層

かいかく

改革

てんのう

天皇

こうごう

皇后

いにか

陛下

けんぽう

憲法

せいとう

政党

ないかく

内閣

ほうりつ

法律

けいざい

経済

平和のとりでを築く

ひろしま

ばくだん

おおむた  
大牟田 稔 みのる

広島市には、一発の原子爆弾で破壊され、そのままの形で今日まで保存されてきた「原爆ドーム」とよばれる建物がある。この原爆ドームが、平和を築き、戦争をいましめるための建物として、ユネスコの世界遺産への仲間入りを果たしたとき、わたしは、建築されてからこの日まで、この傷だらけの建物がたどってきた年月を思わずにはいられなかった。その年月は、わたしたちの父や祖父母たちが生きてきた時代、そして、社会が激しく変わっていった時代と重なる。

「原爆ドーム」は、広島市のほぼ中心を流れる川のほとりに建っている。もともとは、物産陳列館として、一九一五年（大正四年）に完成した。ヨーロッパ出身の若い建築家が設計した鉄骨・れんが造りの三階建てで、建物の真ん中には、楕円形の丸屋根（ドーム）が五階の高さにつき出ている。建てられた当時は、小さいながら、ひときわ目立つ建物だったという。

この建物は、広島を取り巻く時代の流れをじっと見守ってきた。この建物がかげを落とす川には、荷物を運ぶ小ぶねが行きかっていたし、夏になると、子どもたちが水遊びや水泳を楽しんでいた。また、小学生たちの絵や書の作品展の会場としても、この建物は多くの市民に親しまれていた。

## 《新しい漢字》

傷きず

## 《言葉の意味》

ユネスコ

教育・科学・文化を通じて世界の平和につくすために設立された国連の機関。

## 物産陳列館

広島県の産業をすすめるために建てられた展示会場。その後、産業奨励館しょうれいなどと、名前が何度か変わった。





《新しい漢字》  
放射線 一刻



被爆した広島市街の様子

一九四五年（昭和二十年）八月六日午前八時十五分、よく晴れた夏空が広がる朝、広島市に原子爆弾が投下された。それは、この建物にほど近い、約六百メートルの上空で爆発した。強烈な熱線と爆風が放射線とともに市街をおそった。市民の多くは一瞬のうち（しゆん）に生命をうばわれ、川は死者でうまるほどだった。ようやく生き残った人々も傷つき、その多くは死んでいった。

爆心地に近かったこの建物は、たちまち炎（えん）上し、中にいた人々は全員なくなつたという。建物は、ほぼ真上からの爆風を受けたため、全焼（しやう）はしたものの、れんがと鉄骨の一部は残つた。丸屋根の部分は、支柱の鉄骨がドームの形となり、この傷だらけの建物の最大の特徴（ちゆう）を、後の時代にとどめることとなつた。

原爆ドームを保存するか、それとも取りこわしてしまうか、戦後間もないころの広島では議論が続いた。保存反対論の中には、「原爆ドームを見ていると、原爆がもたらしたむごたらしいありさまを思い出すので、一刻も早く取りこわしてほしい。」という意見もあつた。



市民の意見が原爆ドーム保存へと固まったのは、一九六〇年（昭和三十五年）の春、急性白血病でなくなった一少女の日記がきっかけであった。赤ちゃんだったころに原爆の放射線を浴びたその少女は、十数年たって、突然、被爆が原因とみられる病にたおれたのだった。残された日記には、あの痛々しい産業奨励館だけが、いつまでも、おそるべき原爆のことを後世にうつたえかけてくれるだろう―、と書かれていた。この日記に後おしされて、市民も市役所も「原爆ドーム永久保存」に立ち上がったのである。保存と言っても、傷ついた建物だけに簡単ではない。風や雨、雪に打たれ、震動にさらされる原爆ドームには、何より補強工事が急がれた。このことが新聞やテレビで伝えられると、全国から保存を願う手紙や寄付が次々と広島市に届けられるようになった。その後、補強工事は何度かくり返され、今の形を保っている。

日本が一九九二年（平成四年）にユネスコの世界遺産条約に加盟した直後から、広島では、原爆ドームを世界遺産にしようという動きが高まった。そして、その動きは、たちまち全国へと広がっていった。この市民中心の活動は、原爆ドームが世界遺産に指定される一九九六年（平成八年）まで続いたのである。

世界遺産は、人間の歴史に大きな役割を果たした文化遺産と、地球上にある貴重な自然遺産を、未来に向けて大切に守っていくために、ユネスコと世界の国々が調査し、指定していく制度である。エジプトのピラミッドや、ギリシャのオリンピア遺跡など、すでに七百か所以上、世界遺産として手厚く保護されている。日本では原爆ドームより前に、姫路城や屋久島などが選ばれている。

《新しい漢字》

補強

加盟

貴重

原爆ドームが世界遺産の候補として、世界の国々の審査を受けることになったとき、わたしは、ちよっぴり不安を覚えた。それは、原爆ドームが、戦争の被害を強調する遺跡であること、そして、規模が小さいうえ、歴史も浅い遺跡であることから、果たして世界の国々によって認められるだろうかと思っただからであった。しかし、心配は無用だった。決定の知らせが届いたとき、わたしは、世界の人々の、平和を求める気持ちの強さを改めて感じたのだった。痛ましい姿の原爆ドームは、原子爆弾が人間や都市にどんな惨害をもたらすかをわたしたちに無言で告げている。未来の世界で核兵器を二度と使ってはいけない、いや、核兵器はむしろ不必要だと、世界の人々に警告する記念碑なのである。

国連のユネスコ憲章には、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の中に平和のとりでを築かなければならない。」と記されている。原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。

《新しい漢字》  
みと  
認める



核兵器開発反対 (パキスタン)



## 新しい漢字

読み方をノートに書きましよう。

傷

放射線

一刻

補強

加盟

貴重

認める



## 新しい漢字

答え合わせをしましょう。

傷

きず

放射線

ほうしゃせん

一刻

いつごく

補強

ほきょう

加盟

かめい

貴重

きちょう

認める

みとめる

平和のとりでを築く

ひろしま

ばくだん

おおむた  
大牟田 稔 みのる

広島市には、一発の原子爆弾で破壊され、そのままの形で今日まで保存されてきた「原爆ドーム」とよばれる建物がある。この原爆ドームが、平和を築き、戦争をいましめるための建物として、**ユネスコの世界遺産**への仲間入りを果たしたとき、わたしは、建築されてからこの日まで、この傷だらけの建物がたどってきた年月を思わずにはいられなかった。その年月は、わたしたちの父や祖父母たちが生きてきた時代、そして、社会が激しく変わっていった時代と重なる。

「原爆ドーム」は、広島市のほぼ中心を流れる川のほとりに建っている。もともとは、**物産陳列館**として、一九一五年（大正四年）に完成した。ヨーロッパ出身の若い建築家が設計した鉄骨・れんが造りの三階建てで、建物の真ん中には、楕円形の丸屋根（ドーム）が五階の高さにつき出ている。建てられた当時は、小さいながら、**ひときわ**目立つ建物だったという。

この建物は、広島を取り巻く時代の流れをじっと見守ってきた。この建物がかげを落とす川には、荷物を運ぶ小ぶねが行きかっていたし、夏になると、子どもたちが水遊びや水泳を楽しんでいた。また、小学生たちの絵や書の作品展の会場としても、この建物は多くの市民に親しまれていた。

## 《新しい漢字》

傷きず

## 《言葉の意味》

ユネスコ

教育・科学・文化を通じて世界の平和につくすために設立された国連の機関。

## 物産陳列館

広島県の産業をすすめるために建てられた展示会場。その後、産業奨励館しょうれいなどと、名前が何度か変わった。



《新しい漢字》  
放射線 一刻



被爆した広島市街の様子

一九四五年（昭和二十年）八月六日午前八時十五分、よく晴れた夏空が広がる朝、広島市に原子爆弾が投下された。それは、この建物にほど近い、約六百メートルの上空で爆発した。強烈な熱線と爆風が放射線とともに市街をおそった。市民の多くは一瞬のうちに生命をうばわれ、川は死者でうまるほどだった。ようやく生き残った人々も傷つき、その多くは死んでいった。

爆心地に近かったこの建物は、たちまち炎上し、中にいた人々は全員なくなつたという。建物は、ほぼ真上からの爆風を受けたため、全焼はしたものの、れんがと鉄骨の一部は残つた。丸屋根の部分は、支柱の鉄骨がドームの形となり、この傷だらけの建物の最大の特徴を、後の時代にとどめることとなつた。原爆ドームを保存するか、それとも取りこわしてしまうか、戦後間もないころの広島では議論が続いた。保存反対論の中には、「原爆ドームを見ていると、原爆がもたらしたむごたらしいありさまを思い出すので、一刻も早く取りこわしてほしい。」という意見もあつた。





市民の意見が原爆ドーム保存へと固まったのは、一九六〇年（昭和三十五年）の春、急性白血病でなくなった一少女の日記がきっかけであった。赤ちゃんだったころに原爆の放射線を浴びたその少女は、十数年たって、突然、被爆が原因とみられる病にたおれたのだった。残された日記には、あの痛々しい産業奨励館だけが、いつまでも、おそるべき原爆のことを後世にうったえかけてくれるだろう―、と書かれていた。この日記に後おしされて、市民も市役所も「原爆ドーム永久保存」に立ち上がったのである。保存と言っても、傷ついた建物だけに簡単ではない。風や雨、雪に打たれ、震動にさらされる原爆ドームには、何より補強工事が急がれた。このことが新聞やテレビで伝えられると、全国から保存を願う手紙や寄付が次々と広島市に届けられるようになった。その後、補強工事は何度かくり返され、今の形を保っている。

日本が一九九二年（平成四年）にユネスコの世界遺産条約に加盟した直後から、広島では、原爆ドームを世界遺産にしようという動きが高まった。そして、その動きは、たちまち全国へと広がっていった。この市民中心の活動は、原爆ドームが世界遺産に指定される一九九六年（平成八年）まで続いたのである。

世界遺産は、人間の歴史に大きな役割を果たした文化遺産と、地球上にある貴重な自然遺産を、未来に向けて大切に守っていくために、ユネスコと世界の国々が調査し、指定していく制度である。エジプトのピラミッドや、ギリシャのオリンピア遺跡など、すでに七百か所以上、世界遺産として**手厚く**保護されている。日本では原爆ドームより前に、**姫路城**や**屋久島**などが選ばれている。

《新しい漢字》  
補強

加盟

貴重

原爆ドームが世界遺産の候補として、世界の国々の審査を受けることになったとき、わたしは、ちよっぴり不安を覚えた。それは、原爆ドームが、戦争の被害を強調する遺跡であること、そして、規模が小さいうえ、歴史も浅い遺跡であることから、果たして世界の国々によって認められるだろうかと思っただからであった。しかし、心配は**無用**だった。決定の知らせが届いたとき、わたしは、世界の人々の、平和を求める気持ちの強さを改めて感じたのだった。痛ましい姿の原爆ドームは、原子爆弾が人間や都市にどんな**惨害**をもたらすかをわたしたちに無言で告げている。未来の世界で核兵器を二度と使ってはいけない、いや、核兵器はむしろ不必要だと、世界の人々に**警告**する**記念碑**なのである。

国連のユネスコ憲章には、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の中に平和のとりでを築かなければならない。」と記されている。原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。

《新しい漢字》  
みと  
認める



核兵器開発反対 (パキスタン)

## 言葉の意味を確かめましょう。

- ① 破かい こわすこと。こわれること。
- ② いましめる 悪いことやまちがいさせないように教えさす。
- ③ 遺産 昔の人が残した大切なもの。
- ④ ひときわ 多くの中でそれだけが特に目立つ様子。
- ⑤ 放射線 ラジウムやウランなどの元素がこわれるときに出るもので、物をつき通して進む働きを持ち、目には見えない光線のようなもの。
- ⑥ 爆心地 爆発の中心になった所。
- ⑦ むごたらしい 見ていられないほどひどくしていたましい。
- ⑧ 後世のちの世。のちの時代。
- ⑨ さらす 日光や雨、かぜが当たるままにしておく。
- ⑩ 加盟 仲間入りすること。会などに入ること。
- ⑪ 手厚い 心がこもっていて、親切な様子。
- ⑫ 無用 必要でないこと。
- ⑬ 惨害 いたましくて見ていられないような被害。
- ⑭ 警告 危険をさけるように前もって注意すること。
- ⑮ 記念碑 あることを後の世にいつまでも伝えるために、石などに文字などをほって建てたもの。

## 平和のとりでを読んで、おおよその内容を読み取りましょう。

- (1) 「ユネスコの世界遺産」とはなんですか。次から選びましょう。
- ア 世界的に有名な大金持ちが残したさまざまな財産を、国家が協力して守っていくための制度。
- イ 人間の歴史に大きな役割を果たした文化遺産と、地球上にある貴重な自然遺産を守っていくための制度。
- ウ ヒロシマに原爆が落とされたことを忘れずに、戦争の悲惨さを後世に伝えていくための制度。

(2) 題名に「平和のとりでを築く」とありますが、どこに「平和のとりで」を築くのですか。

人の 心 の中



## 宿題

次回の授業までにやる勉強です。

### 1. 漢字

新しい漢字を学習しましょう。

### 2. 音読 「平和のとりでを築く」を読みましょう。

### 3. 言葉の学習

① 「破かい」の反対の意味の言葉はどれでしょう。

ア 進歩      イ 発展      ウ 建設

② 「ひときわ」を使って、短文を作りましょう。

③ 「手厚い」の正しい使い方はどちらでしょう。

ア 手厚い損害を受けた。

イ 手厚い看病かんを受けた。



## お知らせ

1. 質問があったら、メールをください。すぐお返事します。
  2. 自分が書いた文章を見てもらいたいときはメールで送って  
くれば、直して送り返します。
- ❖ メールアドレスは、 [Akiko@JPNCClass.com](mailto:Akiko@JPNCClass.com) です。
  - ❖ このビデオのスライドはWebページ <http://JPNCClass.com> から  
ダウンロードや印刷ができます。



**JPN Class**

Online school - 日本語で学ぼう

国語の学習

小学校

六年生

年間学習表



8月	7月	6月	5月	4月		
		<p>討論会をしよう 討論会の流れと進 め方を学習しよう。</p>			<p>1年間の学習を通し て先生の話を聞き、 学習を進めよう。</p>	話す／聞く
	<p>本は友達 自分の好きな本を 紹介しよう。</p>	<p>ガイドブックを作る う 読み手に必要な情 報、自分が伝えた いことをふまえて、 文章を書こう。</p>	<p>生き物はつながりの 中に 文章全体を短くま とめよう。(要約 しよう。)</p>	<p>カレライス 主人公と似た経験 について書こう。</p>	<p>新聞記事 記事の要約をし、 記事に対する自分 の意見を書こう。</p>	書く
<p>船りんご 詩の言葉に現れた 筆者の気持ちを読 み取ろう。</p>	<p>森へ 情景を想像しながら 読んで、森のイ メージを豊かに伝 える効果的な表現 を味わおう。</p>	<p>短歌・俳句の世界 短歌や俳句を讀ん で、リズムや言葉 の美しさを感じよ う。</p>	<p>生き物はつながりの 中に 筆者が文章を通し て一番言いたいこ とは何か考えよう。</p>	<p>カレライス 主人公の気持ちを 考え、自分と重ね 合わせて読んでみ よう。</p>	<p>新聞記事 記事の内容を読み 取るう。</p>	読む
<p>同じ訓を持つ漢字 同じ訓を持つ漢字 それぞれの意味と 使い方を知ろう。</p>			<p>暮らしの中の言葉 ことわざや漢字四 字の言葉の、意味 や使い方を理解し よう。</p>	<p>漢字の形と音・意味 漢字の音を表す部 分、意味を表す部 分を知り、漢字の 組み立てを理解し よう。</p>	言葉	

1月	12月	11月	10月	9月	
	自分の考えを発信しよう 自分の考えをインターネットを使って、友だちに発信しよう。			みんなで生きる町 調べたことや考えたことを分かりやすく伝えよう。	話す／聞く
今、わたしは、ぼくは 自分の思いが伝わるような表現を身に付けよう。	自分の考えを発信しよう 「平和」に関する資料を通じて、自分の考えを書こう。	イートハーヴの夢 宮沢賢治の考えについて分かったこと、思ったことを書こう。	やまなし この作品を読んで思ったことを、自分なりにまとめてみよう。	みんなで生きる町 調べたことをもとに、提案書を作ろう。	書く
感動を言葉に見たり感じたりしたことをもとに、心のつぶやきを言葉にしよう。	平和のとりでを築く文の書き方の特徴に気をつけて、筆者の考えを読み取ろう。	イートハーヴの夢 宮沢賢治の考え方や生き方を読み取ろう。	やまなし 独特な言葉や表現を味わおう。情景を想像しながら読んで、作品の特徴を考えよう。	みんなで生きる町 だれもが暮らしやすくするにはどうしたらいいか考えよう。	読む
	インターネットと学習 インターネットを学習に役立てるために、注意することを確かめよう。	覚えておきたい言葉 教科や社会生活の中で使われる言葉の意味を理解しよう。	熟語の成り立ち 漢字二字・三字・四字以上の熟語について理解を深めよう。	日本で使う文字 平仮名と片仮名の由来を知ろう。ローマ字とのかかわりを知ろう。	言葉



	3月	2月	
			話す／聞く
	<p>今、君たちに伝えたいこと            筆者が伝えたいことをまとめ、俺に対する自分の考えを書こう。</p> <p>生きる            「生きる」の形をまねて、詩を創ってみよう。</p>	<p>わたしたちの言葉            いろいろなあいさつについてまとめてみよう。</p>	書く
	<p>今、君たちに伝えたいこと            筆者が経験をとおして子どもたちにつたえたいメッセージを読み取ろう。</p> <p>生きる            それぞれの連に注意しながら、作者の考える「生きる」を読み取ろう。</p>	<p>海の命            周りの人々とのかわりの中で成長していく主人公の姿を読み取ろう。登場人物の言動から生き方や考え方を読み取ろう。</p> <p>言葉の橋            詩を味わい、心を伝える言葉の働きについて筆者の考えを読みとろう。</p>	読む
<p>六年生の漢字            六年生で習った漢字の復習をしよう。</p>		<p>漢字クイズ            小学校で習った漢字を、正しく理解しているか確かめよう。</p>	言葉